

1月19日(金)

交通ルールをしっかりと守ろうね

新入学予定園児の交通安全教室

4月に新入学を控えた園児を対象に、交通安全教室が大町保育園で行われました。この教室は、毎年、町交通対策協議会が主催し、講師には地域貢献を行っている「ヤマト運輸株式会社」の協力を得て開催されています。

園児たちは、シロネコとクロネコといっしょに、安全に登下校するための交通ルールや道路に潜む危険などについての講話を受けました。その後、模擬信号や横断歩道を使って、信号の正しい見方や横断歩道の安全な渡り方について学びました。



▲しっかりと手を上げて横断歩道を渡りましょう



▲保護者をはじめ、交通安全協会大町支部や交通安全母の会、交通安全指導員、警察官にもご協力いただきました。



2月9日(金)

いち早い支援のために

能登半島地震被災地へ職員派遣

佐賀県および県内市町で支援することとなった石川県志賀町へ、町子育て・健康課の保健師の宮崎優さんが派遣されました。

派遣に先立ち、水川町長から「当町も水害の際は全国からたくさんの方の支援をいただきました。現地の住民だけではなく、復興活動に従事されている人たちも疲弊していると思います。しっかり話を聞いて心身のケアに努めてください。そして元気に帰ってきてください」と激励の言葉が贈られました。



▲激励の言葉を贈る水川町長



【氏名】 宮崎 優さん
 【課(係)】 子育て・健康課(健康づくり係)
 【派遣期間】 2月12日(月)～2月18日(日)
 【支援活動を振り返って】

石川県志賀町での支援活動は、避難所巡回と個別訪問をして、健康状態の確認と精神的なケアを行いました。被災地の方々とお話しする中で、佐賀県から来たことが分かったと「遠くから来てくれてありがとう」「お話しして気が楽になった」と表情が明るくなられ、少しでも役にたっている気がして嬉しかったです。

被災地では、現在も厳しい状況が続いています。引き続き、息の長い支援が必要だと感じました。